

第2学年1組 道徳学習指導案

平成23年10月18日(火) 第5校時
在籍児童数 男子16名 女子14名 30名
指導者 教諭
場所 2年1組 教室

- 1 主題名 生まれてきてよかったな 3-(1) 生命尊重
- 2 資料名 「大切なたからもの」 出典 埼玉県道徳教材資料集「きょうもげんきに」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、低学年の内容項目3-(1)「生きることを喜び、生命を大切にすることをもち、生命あるもの全てをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることを育てようとするものである。これは、中学年の3-(1)「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。」高学年の3-(1)「生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重すること。」につながっていく。

生命の大切さはどれだけ強調しても、し過ぎることはなく、すべての道徳性は生命が大切にされてはじめて成り立つものである。その生命も人間だけでなく生きているもの全てに生命に対する尊重の精神が必要である。低学年においては、具体的な出来事や経験を通して自他の生命の大切さを理解させながら、生きている証や喜びを実感させることで生命の大切さを自覚させることが求められている。

そこで、低学年の児童でも、身近な経験である兄弟の誕生を通して、生命の大切さに気づかせ、自分や他の命を大切にすることを育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

(※HP上では、消してあります。)

児童の実態を把握するために、以下のようなアンケートを行った。

- | | |
|------------------------|----------------|
| ①あなたの「大切なたからもの」はなんですか。 | |
| ・家族 13名 | ・お金 3名 |
| ・ダイヤ 2名 | ・命 2名 |
| ・心 | ・時計 |
| ・家 | ・お兄ちゃん |
| ・ぬいぐるみ | ・眼鏡 |
| ・勉強 | ・ゲーム |
| ②そのわけを書きましょう。 | |
| ・一緒に暮らしている 4名 | ・面倒をみってくれる 3名 |
| ・食べものを食べさせてくれる 3名 | ・家族がいないと寂しい 2名 |
| ・お金がないと何も買えない 2名 | ・きれい 2名 |
| ・1つしかない(命、時計) | ・大好き 2名 |
| ・お金がないと生きていけない | ・命は買えない |
| ・頭が良くなり、楽しい | ・かわいい |
| | ・眼鏡がないと見えない |
| | ・楽しい |

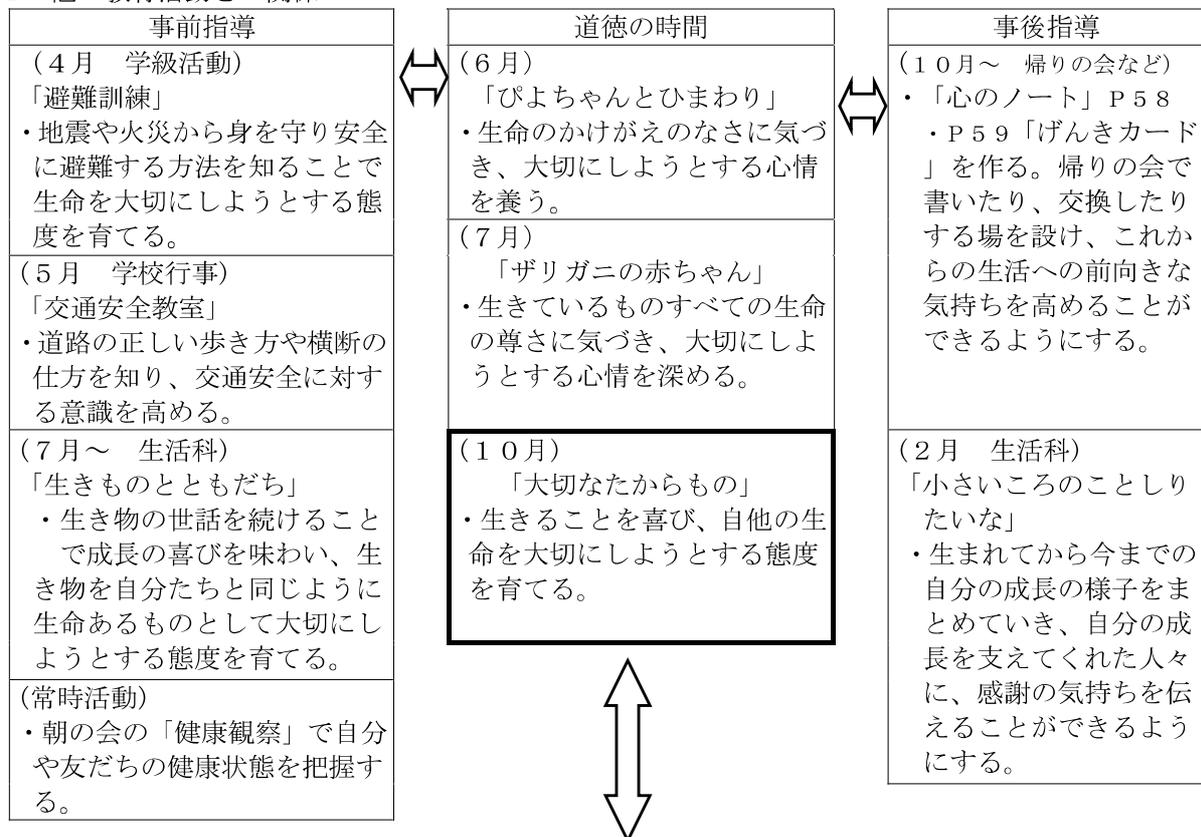
アンケートの結果から、「家族が大切」と答えた児童が約半数いることが分かった。いつもそばにいて自分のことを支えてくれている家族の感謝の気持ちが伺える。また、目に見える物質的なものは大切にすることが、目に見えない心や命などには、あまり趣を置いていないことが分かった。このことから、日常の生活の基盤である家族から自分がどんなに大切に思われているかということに気づかせ、自分の命を大切にしようとする心情を育てることにより他の生命についても大切にしようとする心情を高めたい。

(3) 資料について

本資料は、主人公「春人」の心の変化を中心に展開している。春人に弟が誕生した。弟の誕生の喜びと共に両親にかわいがられている弟をうらやましく思う。お母さんやお父さんの言葉から自分の誕生も父母や家族に祝福され、家族の願いが込められた名前をもらったことに気づく。その後、自分とつながりのある生命の誕生を喜ぶとともに、その生命が『いちばんのたからもの』と気づい

ていく。ここでは主人公「春人」の心を十分に話し合わせたい。人と人とが互いにかけてあげのないものになっていることに気づき、生きている喜びを感じて命の尊さに気づくという主人公の気持ちの変化に共感させていきたい。そして、終末で親からのメッセージを読むことにより、主人公から離れて、子どもたち自身の命が親や周りの人たちに大切にされていることを実感させ、自他の生命を大切にすることを育てていきたい。

4 他の教育活動との関係



家庭との連携
・学年便りで授業の内容を知らせ、誕生したときの様子や成長していく喜びなど我が子への思いを手紙に書いていただく。 ・学級通信で授業内容や児童の発言の様子などを知らせ、家庭でも生命の大切さについて話題にしよう。

5 本時の学習活動

(1) ねらい

生きることを喜び、自他の生命を大切にしようとする態度を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価	資料時間
導入	1 アンケートから命について話し合う。 ・みんなにとって命とは何ですか。	・大切なもの ・お金では買えない。 ・1つしかない。	・「命」について話し合い、ねらいとする価値への方角付けを図る。	3分
展開	2 資料「大切なたからもの」について知る。 【登場人物】 ぼく(春人)、お父さん、お母さん、弟(広人) 【条件・状況】 春人に弟が生まれた。赤ちゃんに会いに行く日 春人は、思わずスキップをした。弟の誕生の喜びと共に両親からたからものと思われている弟をうらやましく思い、下を向いてしまう。			場面絵短冊 8分

展		<p>3 教師の判読を聞く。 ・春人さんの気持ちを考えながら聞きましょう。</p> <p>4 話題の整理と確認をする。 ・心に残ったところを発表しましょう。</p>	<p>・おそろおそろ弟を抱っこさせてもらったところ ・弟をうらやましく思い下をむいたところ ・ぼくも弟も『大切なたからもの』と聞いたところ ・なんだか元気がもりもりわいてきたところ</p>	<p>・登場人物、条件、状況など絵を使って、わかりやすく説明する。</p> <p>・主人公の気持ちが伝わるように、ゆっくりと丁寧に読む。</p> <p>・一人一人の児童のとらえ方を大切にし、どの考えでも温かく受け入れる。 ・心に残ったことを中心に話題の整理と確認をして話し合いの方向付けをする。 ☆心に残った場面を見つけ、話し合う意欲を高めることができたか。</p>	紙芝居
	深める	<p>5 主人公「春人」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) 生まれて間もない弟をおそろおそろ抱っこさせてもらったぼくは、どんな気持ちでしょうか。</p> <p>(2) お父さんとお母さんが弟を「うちのたからものだよ」ということを聞いた時ぼくは、どんな気持ちになったのでしょうか。</p> <p>(3) ぼくも弟も『大切なたからもの』と聞いたぼくは、どんな気持ちになったのでしょうか。</p> <p>(4) 弟のことを『いちばんのたからもの』と思ったぼくは、元気がもりもりわいてきました。ぼくはどんな気持ちでしょうか。</p>	<p>・かわいいな。 ・うれしいな。 ・ぼくの弟だ。 ・いっぱい遊んであげよう。</p> <p>・うらやましい。 ・2番目になった。 ・さびしい。 ・ぼくのこととはたからものじゃないのかな</p> <p>・うれしい ・がんばろう ・ぼくもたからものでよかったです。 ・お父さんやお母さんもぼくたちのことを大事に思ってくれているんだ。</p> <p>・いいお兄ちゃんになるぞ。 ・弟をずっと大切にするよ。 ・たからものがふえた ・一生ぼくのたからものだよ。</p>	<p>・弟が誕生して喜んでいる春人の気持ちを感じ取らせるようにする。</p> <p>・弟の誕生を喜んでいたぼくの気持ちが、弟をうらやましく思う主人公の気持ちに共感させる。</p> <p>・自分の誕生も父母や家族に祝福され、弟と自分が同じように大切にされていると知った、主人公の喜びに共感させたい。 ☆主人公の気持ちを深く考えることができたか。</p> <p>・自分とつながりのある命の誕生を喜び、その生命がかげがえのないものであることに気付く主人公の心を十分に話し合わせねらいに迫りたい。</p>	<p>場面絵 3分</p> <p>4分</p> <p>5分</p> <p>ペープサート6分</p>
開	見つける	<p>6 今までの自分を振り返る。 ・心のノートP68・P69を見て感じたことを発表しましょう。</p>	<p>・にこにこしている。 ・楽しそう。 ・みんなと一緒に生きている。 ・友だちと仲よく遊べる。</p>	<p>・生きていることや生命のすばらしさを感じとらせこれからの生き方について考えさせる。 ☆命はかけがえのないもの</p>	<p>心のノート ワークシート</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・生きているっていいなと思う時は、どんな時でしょう。ワークシートに書いてみましょう。 ・この生命を大切に生きて元気にがんばろう。 	<p>であり、自分だけでなく、他者の命も大切にしようとする気持ちをもつことができたか。</p>	11分
終末	あたためる	7 保護者からの手紙を読む。	<p>○誕生した時の様子や成長していく喜びなど、わが子に対する保護者の思いを知り、自分の生命にも目を向け、生命を大切に生きていこうとする意欲を高めるようにする。</p>	保護者からの手紙 5分

6 評価の観点

- ・主人公の気持ちになって、自分の考えを深めることができたか。(発言、ワークシート、観察)
- ・生きることを喜び、生命を大切にしようとする気持ちをもつことができたか。(発言、ワークシート、観察)

7 板書計画

